

# 週間市場レポート (2021年5月17日~5月21日)

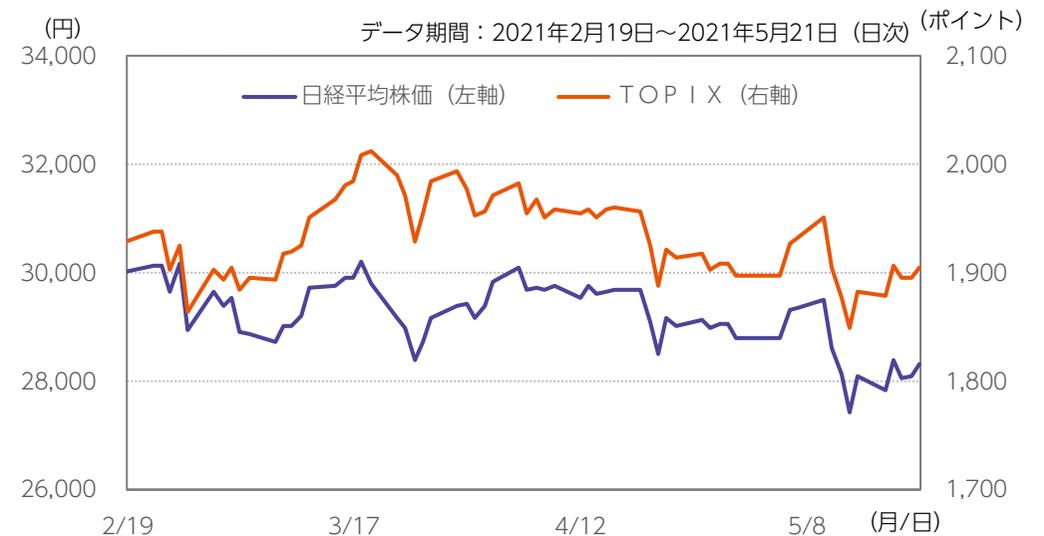
## 1) 先週の市場動向

指数名	国	前週末 2021/5/14	先週末 2021/5/21	前週末比 (%)
日経平均株価 (円)		28,084.47	28,317.83	0.83 ↗
TOPIX (東証株価指数)		1,883.42	1,904.69	1.13 ↗
ダウ工業株30種平均 (ドル)		34,382.13	34,207.84	▲0.51 ↘
S&P500種指数		4,173.85	4,155.86	▲0.43 ↘
ナスダック総合指数		13,429.98	13,470.99	0.31 ↗
ユーロ・ストックス50指数		4,017.44	4,025.78	0.21 ↗
S&P/ASX300指数		7,002.28	7,022.40	0.29 ↗
上海総合指数		3,490.38	3,486.56	▲0.11 ↘
MSCI AC アジア (除く日本)*		1,025.38	1,044.13	1.83 ↗
東証REIT指数		2,008.45	2,054.44	2.29 ↗
FTSE NAREIT All-Equity REIT 指数		811.87	817.97	0.75 ↗
ASX300 REIT 指数		1,457.40	1,464.60	0.49 ↗
グローバルREIT (除く日本)*		192.65	193.69	0.54 ↗
日本10年国債 (%)		0.089	0.083	▲0.006 ↘
米国10年国債 (%)		1.628	1.622	▲0.007 ↘
ドイツ10年国債 (%)		▲0.129	▲0.130	▲0.001 ↘
英国10年国債 (%)		0.857	0.830	▲0.027 ↘
ドル/円		109.35	108.96	▲0.36 ↘
ユーロ/円		132.78	132.72	▲0.05 ↘
英ポンド/円		154.09	154.17	0.05 ↗
豪ドル/円		85.10	84.22	▲1.03 ↘
フィラデルフィア半導体指数		2,981.42	3,052.10	2.37 ↗
WTI原油先物 (ドル)		65.37	63.58	▲2.74 ↘
CRB指数		203.29	200.87	▲1.19 ↘

## 2) 日本の株式・債券市場

### ≪ 株式 ≫

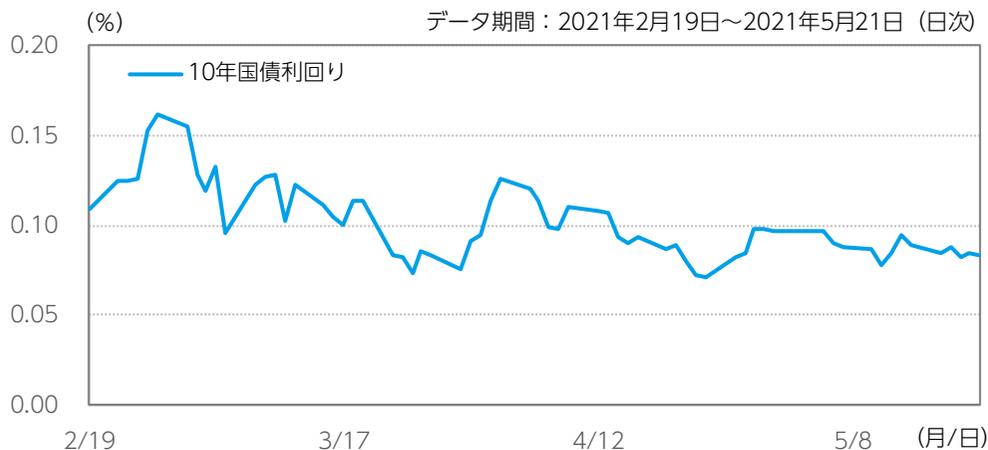
日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で小幅に上昇となりました。米国株式市場の下落を背景に、前週に大幅下落した反動から国内外からの押し目買いが入ったことや、厚生労働省が米モデルナ製と英アストラゼネカ製のワクチンをスピード承認したことで投資家心理が改善し上昇しました。一方、5月末を期限としている東京などの緊急事態宣言が延長されるとの観測が浮上すると、景気敏感株などを中心とした売りに押され、週間では上値の重い展開となりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成  
※現地通貨ベース \* ▲はマイナスを表します。

＜ 債券 ＞

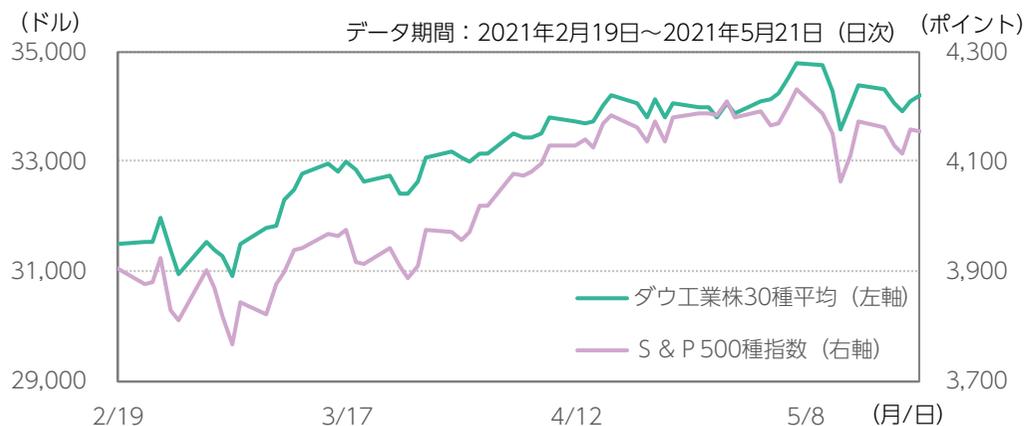
日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比でほぼ横ばいとなりました。米連邦準備制度理事会（F R B）による量的金融緩和の縮小に向けた議論が近く始まるとの思惑から米長期金利が上昇し、国内金利も上昇したものの、週末にかけてインフレ懸念を材料とした米長期金利の上昇がやや一服すると、国内金利は低下しました（価格は上昇）。



3) 米国の株式市場

＜ 株式 ＞

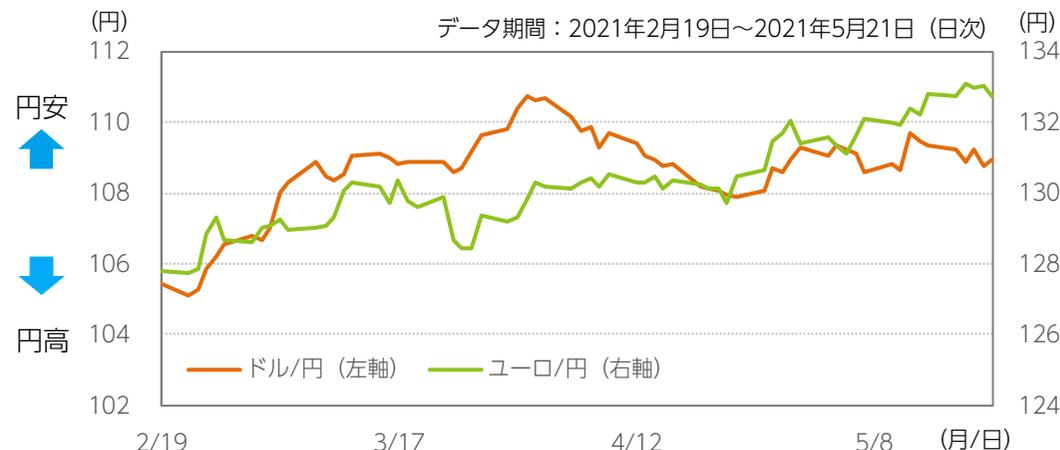
米国株式市場（NYダウ）は、前週末比で小幅に下落となりました。インフレ警戒感から週初よりハイテク株の売りが進む中、中国当局による規制の本格化を背景とした仮想通貨の急落で投資家心理が悪化したことから下落となりました。その後は、長期金利の上昇がやや一服したことから、これまで売られていたハイテク株を中心に買い戻され、小幅に上昇しました。



出所）ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

4) 外国為替市場

米ドル/円相場は、前週末比で円高米ドル安となりました。米金融当局が金融緩和を縮小させるとの見方から米長期金利が上昇し、日米金利差を意識した円売り米ドル買いが進んだものの、仮想通貨の急落などを背景に投資家のリスク選好姿勢が後退すると、低リスク通貨とされる円が買われ、週間では小幅な円高米ドル安となりました。



5) 今週の見通しについて

4月の米連邦公開市場委員会（F O M C）の議事録要旨を受け、量的金融緩和縮小の開始が再び意識されたことから金利上昇懸念がくすぶっており、先週の株式市場は日米両市場ともに上値の重い展開となりました。

先週は米国の小売企業の決算発表が相次ぎました。バイデン政権による家計支援を中心とした大規模経済対策を追い風に、市場予想を上回る好決算が確認されました。ワクチン接種の進展で行動制限が緩和され、実店舗の売上増を見込み、多数の企業が業績見通しを上方修正しました。一方、国内では、緊急事態宣言の対象に沖縄県が追加され、東京都や大阪府などは期限延長の見通しとなり、経済活動停滞の長期化が懸念されます。

好決算銘柄を物色する動きが見られるものの、株式市場は米長期金利の動向に左右される展開が続いています。この展開は日米の企業決算発表が一巡し、材料難の今週の株式市場においても継続するものと予想します。

## 【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

## &lt;設定・運用&gt;



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506

9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>